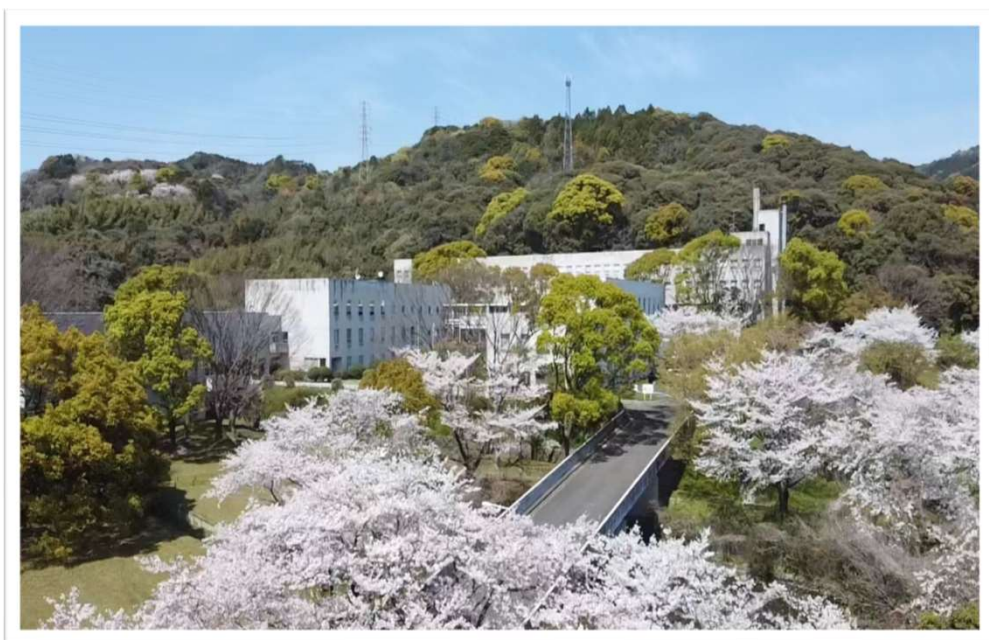


令和6年度 第1回佐賀県教育センター運営協議会



< 説明資料 >

- 1 令和6年度佐賀県教育センター方針
- 2 令和5年度事業評価結果及び
令和6年度事業評価計画について
 - (1) 研修課
 - (2) 教育支援課

2 令和5年度事業評価結果及び 令和6年度事業評価計画について

(1) 研修課

- ・総合企画担当
- ・教職研修担当

令和5年度 研修課 事業評価 結果

番号	事業名	評価項目	指標	評価結果	備考
1	必須研修	初任者研修受講者の評価	平均3.4以上	達成 (3.69)	受講者347名
		中堅教諭等資質向上研修受講者の評価	平均3.4以上	達成 (3.54)	受講者144名
		2年目研修受講者の評価	平均3.4以上	達成 (3.84)	受講者296名
		3年経験者研修受講者の評価	平均3.4以上	達成 (3.70)	受講者350名
		養護教諭研修受講者の評価	平均5.1以上	達成 (5.63)	受講者46名
		教育行政職員研修受講者の評価	平均5.1以上	達成 (5.23)	受講者593名
		職務別研修受講者の評価	平均5.1以上	達成 (5.25)	受講者1227名
		課題別研修受講者の評価	平均5.1以上	達成 (5.57)	受講者234名

※評価はアンケート結果(経験年数別研修は4件法、その他は6件法)による

※職務別研修、課題別研修の受講者数には無回答者を含む延べ人数を計上

令和5年度 研修課 事業評価 結果

番号	事業名	内容・評価項目	指標	評価結果	備考
2	希望等研修	希望等研修受講者の評価	平均5.1以上	達成(5.42)	受講者3,490人
8	インターネット活用	教育センターWebからの情報提供 教育センターWebの総アクセス件数	年間アクセス数 350万件以上	達成 (477万件)	

※希望等研修の受講者数には無回答者を含む延べ人数を計上

令和6年度 研修課 事業計画

研修課 〈総合企画担当〉

必須研修

●初任者研修

校外研修13日のうち、共通研修6日と選択研修1日を実施する。

●中堅教諭等資質向上研修

校外研修10日のうち、共通研修6日と自己課題解決研修（選択研修）4日を実施する。

●2年目研修

校外研修3日のうち、フォローアップ研修1日と選択研修2日を実施する。

●3年経験者研修

校外研修3日のうち、全校種合同研修会1日と企業福祉施設等体験研修2日を実施する。

●養護教諭経験年数別研修

経験年数に応じた各研修を実施する。

- ・新規採用養護教諭研修4日
- ・養護教諭2年目研修2日
- ・養護教諭3年経験者研修2日
- ・中堅養護教諭資質向上研修2日

●教育行政職員研修

- ・教育行政職員（新規採用職員・主事・主査・事務主任・事務長・統括事務長等）を対象とした各研修を実施する。

研修課〈教職研修担当〉

必須研修(職務別研修・課題別研修)

●職務別研修

教職員の職務に応じた専門的な知識や技能の向上を図るために、職務別を実施する。

●小学校新任理科担当教諭研修

- ・令和2年度より、対象者を「初めて理科の授業を行う教諭」として、1日研修を実施する。
- ・令和4年度より、繰り返し確認が必要な内容をオンデマンド研修で提供し、半日の集合研修を行う。
- ・佐賀市、佐賀市を除く東部地区、西部地区、北部地区の4地区に分け、同内容を4回実施する。

●中・高新任理科教諭研修

- ・新規採用の理科担当教諭を対象として、1日研修を実施する。
- ・令和4年度より、繰り返し確認が必要な内容をオンデマンド研修で提供する。

●小学校新任家庭科担当教諭研修

- ・令和4年度に、対象者を「初めて家庭科の授業を行う教諭」として、衣生活分野と食生活分野についてそれぞれ半日研修を新設した。
- ・東部地区、西部・北部地区の2地区に分け、同内容を2回ずつ実施する。
- ・食生活分野については、リモート研修の形態とし、受講者は所属校の家庭科室において実習を行い、様子を配信する。

研修課〈教職研修担当〉

希望等研修【本講座・公開講座・出前講座】

【R6年度】

「教科・領域等の専門的かつ実践的指導力の向上を図る」ことを目的とし、
本講座 94本、公開講座 1本、出前講座 1本（計96本）を設定

◆オンライン研修を充実

著名な講師陣によるリモート研修を24本、オンデマンド研修を3本実施予定

◆スーパーティーチャーによる授業講座（21本）を実施予定

◆「新しい教師の学び」が始まることに伴い、多様な研修の充実を図る (R5より)

- ・ 高等学校教員対象…高校就職指導講座、中学校音楽科・高校芸術科(音楽)講座、
中学校美術科・高校芸術科(美術)講座、
中学校国語科(書写)・高校芸術科(書道)講座、高校情報科講座
- ・ 複数校種教員対象…外国につながる児童生徒への支援講座、消費者教育講座、
学校防災講座

研修課〈教職研修担当〉

インターネット教育活用事業

【R6年度】

昨年度に引き続き、教育センターWebにより、教育に関する最新情報や研究成果等を発信し、県内教職員の「教育情報ポータルサイト」としての活用を目指す。

- ◆ 教育センターWebサイトの運用
 - ・ Web運用総括を教職研修担当で行い、ページの更新は各担当で行う
- ◆ 研修情報の発信（実施要項、緊急時の連絡等）
- ◆ 各種教育情報の発信
- ◆ 佐賀県教育センター内の研究物や指導案を検索するための「SAGAせ～る指導案」を提供
- ◆ 教育センターWeb上の受講者専用ページにて、オンデマンド研修を実施

要望にお応えし、随時更新をしています！

研修課

研修に係る確認事項

◆受講に必要な連絡等

- ・ リモート情報等の受講者への必要な連絡は、職務別研修・課題別研修・希望等研修とともに「新教育情報システム(SEI-Net)メール」で行う。情報共有のため、教頭先生（副校長先生）をCCに入れて連絡を行う。

◆緊急時の連絡等

- ・ 台風や大雨等の悪天候による研修の延期や変更の連絡は、教育センターWebで行う。原則、文書や電話による連絡はしない。

※「緊急時の連絡」「近日実施予定の研修」「研修実施要項」に反映

参考資料

研修評価の指標について

100点満点中の85点を高評価の基準としている。

4件法

評価項目(4つ)

- | | |
|----------|----|
| ・そう思う | 4点 |
| ・だいたい思う | 3点 |
| ・あまり思わない | 2点 |
| ・思わない | 1点 |

4点満点

4点満点の85% → 3.4

評価指標 3.4

6件法

評価項目(6つ)

- | | |
|------------|----|
| ・とてもそう思う | 6点 |
| ・そう思う | 5点 |
| ・少しそう思う | 4点 |
| ・あまりそう思わない | 3点 |
| ・そう思わない | 2点 |
| ・全くそう思わない | 1点 |

6点満点

6点満点の85% → 5.1

評価指標 5.1

(2) 教育支援課

- 研究調査担当
- 生徒支援担当

令和5年度 教育支援課 事業評価 結果

番号	事業名	内容・評価項目	指標	評価結果	備考
3	プロジェクト研究	プロ研委員、センター所員の取組意欲、理解度、活用意識	平均3.4以上	達成(3.61)	調査対象 委員6名
4	個別実践研究	センター所員の取組意欲、理解度、活用意識	平均3.4以上	達成(3.88)	調査対象 所員32名
5	学校支援	学習状況調査の結果の分析・活用に係る学校支援 支援校教員の理解度、キーワードに沿った項目	平均3.4以上	達成(3.77)	調査対象 852名 支援実施 51校
6	学校支援	教育相談・生徒指導、特別支援教育に係る学校支援 支援校教員の理解度、効用感、活用意識	平均3.4以上	達成(3.88)	調査対象 2,336名 支援実施 117件

令和5年度 教育支援課 事業評価 結果

番号	事業名	内容・評価項目	指標	評価結果	備考
8	図書資料室管理	資料の収集 教科書展示会の実施	評価しない	—	
9	広報業務	教育センターニュース「ミネルバ」の 発信	評価しない	—	

全所体制での研究

プロジェクト研究（中学校音楽科・中学校美術科）

「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善してみた！

クローズアップ生徒支援

個別実践研究 教育相談・生徒指導
個別実践研究 特別支援教育

【緊急企画】

個別実践研究 小・中学校各教科・領域等
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

個別実践研究 小・中学校各教科・領域等
基礎期の教員の指導力向上

今だから知りたい！

授業づくりの

基本のキ

授業づくりの「困った」に 대응する！

小学校
国語科、社会科、算数科、理科、図画工作科、外国語科、学校保健

中学校
国語科、社会科、理科、技術・家庭科（家庭分野）、道徳科

特別支援教育コーディネーターの1年で「チームとして」の学校「で行こう！」

「チームとして」の学校「で行こう！」

特別支援教育コーディネーターの1年

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実って何ですか？

気になるポイント完全解説

小学校 理科
中学校 数学科、英語科

「支える生徒指導」の今

シン・生徒指導

子どもたちのためにがんばる先生方を応援する！

佐賀県教育センター **S P E C** 特別増刊号

¥0 FREE




教育支援課 <研究調査担当><生徒支援担当>

5 学校支援

学習状況調査の分析・活用に係る学校支援の実績

	学校支援件数	支援対象者数
令和5年度	51件	852名

6 学校支援

教育相談・生徒指導、特別支援教育に係る学校支援の実績

	学校支援件数	内訳		支援対象者数
		教育相談	特別支援教育	
令和4年度	105件	64	41	1920名
令和5年度	117件	73	44	2336名

3 プロジェクト研究(2か年計画1年目)

センター所員と研究員(学校の教職員)とでプロジェクトチームを組織して進める。

○小学校 国語科、算数科 中学校 国語科、数学科、英語科

4 個別実践研究(1か年計画)

センター所員がチームを組んで、原籍校と連携を図りながら進める。

○小学校 算数科、社会科、図画工作科、外国語科、道徳科、学校保健

○中学校 理科、美術科、音楽科、技術・家庭科(家庭分野)、道徳科

【プロジェクト研究】 小学校：国語科、算数科 研究主題 中学校：国語科、数学科、英語科

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進を図るためのコンテンツ開発

○プロジェクト研究コンテンツの作成予定（一部）

SAMPLE

令和6年度 佐賀県教育センター プロジェクト研究(中学校英語科教育研究委員会)

中学校 英語科 外国語科における

4 単元を通じた学習過程における生徒の姿と教師の手立て

学習過程 生徒の学びの姿 / 教師の手立て(※点線で囲んだ部分)

1 **「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進**

2 **「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進**

3 **「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進**

5 領域における指導の留意点

「聞くこと」「話すこと」「書くこと」

「読むこと」

「書くこと」

「話すこと」

「書くこと」

理論編

令和6年度 佐賀県教育センター プロジェクト研究(小学校算数科教育研究委員会)

小学校 算数科 算数科における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

学習指導要領(平成29年告示)解説算数編(以下、学習指導要領)によると、算数科の指導計画の作成に当たっては、「単元ごときの内容や時間の大まかを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、数学的活動を通して、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること」を示されています。

では、具体的にどのようにして指導計画の作成を行えばよいのでしょうか。算数科における「主体的・対話的で深い学び」の3つの視点について整理し、具体的な教師の手立てについて考えていきます。

1、算数科における「主体的・対話的で深い学び」の3つの視点

「主体的な学び」の視点

「対話的な学び」の視点

「深い学び」の視点

児童の資質・能力を育成するに当たっては、学習指導要領の趣旨を踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」という観点から学習活動の充実の方向性を改めて捉え直し、これまでと変わって来た工夫とともに、ICTの新たな可能性を指導に生かすことで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていくことが重要と考えられます。

SAMPLE

令和6年度 佐賀県教育センター プロジェクト研究 (小学校算数科教育研究委員会)

小学校算数科 事例1

単元名 表と棒グラフ (第3学年 全10時間)

内容のまとめり 第3学年「D データの活用」(1)「表と棒グラフ」

単元を通して育成を目指す資質・能力

1 単元の目標

2 単元の評価規準

3 指導と評価の計画 (10時間)

評価規準

評価方法

行動観察

ノート分析

評価規準

評価方法

行動観察

ノート分析

評価規準

評価方法

行動観察

ノート分析

実践編

令和6年度 佐賀県教育センター プロジェクト研究 (小学校算数科教育研究委員会)

単元を通して育成を目指す資質・能力

1 単元の目標

2 単元の評価規準

3 指導と評価の計画 (10時間)

評価規準

評価方法

行動観察

ノート分析

評価規準

評価方法

行動観察

ノート分析

評価規準

評価方法

行動観察

ノート分析

評価規準

評価方法

行動観察

ノート分析

【個別実践研究】 小学校：社会科、算数科、外国語科、図画工作科、道徳科、学校保健 研究主題 中学校：理科、音楽科、美術科、技術・家庭科（家庭分野）、道徳科 指導と評価の一体化を図るためのコンテンツの開発

○個別実践研究コンテンツの作成予定（一部）

令和6年度 佐賀県教育センター 個別実践研究（小・中学校各教科・領域別）

学習指導プラン

中学校音楽科第1学年
題材名 アーティキュレーションを生かして伝えよう

内容のまとめ
【第1学年】
「A表現」(1)器楽 及び 【共通事項】(1)

1 本題材で扱う学習指導要領の内容
第1学年 A表現(1)器楽
ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること。
イ 次の(7)及び(8)について理解すること。
(7) 楽器の音色や響きの奏法との関わり
ウ 次の(7)及び(8)の技能を身に付けること。
(7) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能
【共通事項】(1)ア 音色、旋律

2 題材の目標
(1) アルトリコーダーの音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。
(2) アルトリコーダーの音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したことの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫する。
(3) アーティキュレーションを生かして演奏することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むとともに、アルトリコーダー二重奏に親しむ。

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>ア アルトリコーダーの音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</p> <p>イ 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、アルトリコーダーの演奏で表している。</p>	<p>ア アーティキュレーションの働きを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じたこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図を持っている。</p>	<p>ア アーティキュレーションを生かして演奏することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>

中学校音楽科 学習指導プラン

令和6年度 佐賀県教育センター 個別実践研究（小・中学校各教科・領域別）

授業実践のまとめ 中学校音楽科 第1学年
題材名 アーティキュレーションを生かして伝えよう（全4時間）

1 題材について
本題材は、「聖者の行進」（リコーダー二重奏）を教材として、アーティキュレーションを生かして、生徒が表したい器楽表現で演奏する題材です。スタッカート奏法、ポルタート奏法、レガート奏法の3種類の奏法の特徴と曲想の関連を理解し、アルトリコーダーの様々な音色や響きを味わいながら、アルトリコーダーを演奏するために必要な技能を習得し、創意工夫を生かした表現で演奏することができます。また、ペアで演奏する活動を通して、主体的・協働的な学習が展開できるようにします。

2 題材の目標
(1) アルトリコーダーの音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。
(2) アルトリコーダーの音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したことの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫する。
(3) アーティキュレーションを生かして演奏することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むとともに、アルトリコーダー二重奏に親しむ。

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>ア アルトリコーダーの音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</p> <p>イ 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けて表している。</p>	<p>ア アルトリコーダーの音色や響きを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じたこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図を持っている。</p>	<p>ア アーティキュレーションを生かして演奏することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>

題材の目標や評価規準の設定については、国立教育政策研究所「[指導と評価の一体化](#)」のための学習評価に関する参考資料、や佐賀県教育センターWeb「[学習評価の進め方](#)」、「[学習評価 FIRST STEP](#)」を御参照ください。

中学校音楽科 授業実践のまとめ

- その他
- ・単元(題材)デザイン FIRST STEP
 - ・学習評価 FIRST STEP
 - ・授業モデル
 - ・授業実践紹介動画

など

プロジェクト × 個別実践 研究 研究

小・中学校
各教科・領域等

小学校 算数

7月1日(月) [定員 25名]
14:00~14:45 授業
15:00~15:45 授業研究会
神崎市立西郷小学校
授業者 教諭 小林 由紀子
第3学年 「表と棒グラフ」

中学校 美術

7月2日(火) [定員 20名]
14:05~14:55 授業
15:05~15:55 授業研究会
小城市立小中一貫校声刈観瀨校
授業者 教諭 江越 晶子
第9学年 「日本と西洋の美術文化
~それぞれのよさや
美しさを味わおう~」

小学校 国語

7月4日(木) [定員 20名]
13:45~14:30 授業
14:45~15:30 授業研究会
佐賀市立南川副小学校
授業者 教諭 野口 麻由美
第4学年 「文章の構成を考えて
物語をつくろう」

中学校 理科

7月4日(木) [定員 15名]
14:10~15:00 授業
15:10~16:00 授業研究会
鳥栖市立鳥栖中学校
授業者 教諭 館 亮輔
第3学年 「力学的エネルギー、
エネルギーとエネルギー
資源」

中学校 国語

7月5日(金) [定員 20名]
13:40~14:30 授業
14:40~15:30 授業研究会
白石町立白石中学校
授業者 教諭 蒲原 裕子
第2学年 「根拠の適切さを考えて
書こう 意見文を書く」

授業を参観し、児童生徒のよりよい
学びにつながる授業づくりについて
一緒に考えてみませんか?
ぜひ、御参加ください。



《申込みはコチラ》



※申込みは、各授業公開日の1週間前とします。
なお、申込人数には定員がありますので、先着順、
定員となり次第、締切とさせていただきます。
※申込みは、所属校の管理職を通して行ってください。
※参加決定者には、後日メールにて、詳細を御連絡
いたします。

【申込フォームURL】

<https://forms.office.com/r/re2cHOEB6K>

《問合せ先》

佐賀県教育センター
佐賀県佐賀市大和町大字川上
TEL 0952(62)5214
【研究調査担当】



【研究成果の周知方法】

- ① 授業公開と授業研究会の実施
- ② Webサイトによる研究成果の発信・活用推進
- ③ 授業実践のまとめ(動画)による発信
- ④ 講座や学校支援における活用
- ⑤ 「LINE」による周知・活用推進

佐賀大学との連携・協力事業
大学教員との連携により
研究の質の向上を図る

教育支援課 <研究調査担当><生徒支援担当>

5 学校支援

学習状況調査の分析・活用に係る学校支援予定

	学校支援件数	内訳			
		小学校	中学校	小・中合同	盲学校
令和6年度	58件	46件	6件	5件	1件

6 学校支援

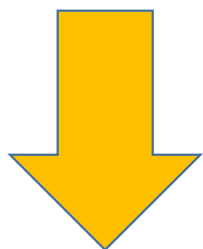
教育相談・生徒指導、特別支援教育に係る学校支援予定

	学校支援件数	内訳	
		教育相談	特別支援教育
令和6年度	77件	35件	42件

教育支援課 <研究調査担当><生徒支援担当>

学校支援の改善・充実

- ・学習状況調査の分析・活用
- ・教育相談、特別支援教育



事前の取組推進
研修内容・方法の選択

各学校の自立した校内研修
につなげる支援の工夫

- ☞ 研修方法の選択
- ☞ 協議・演習の時間の選択
- ☞ 共通理解・共通実践

教師の「主体的・対話的で深い学び」の実現

教育支援課

7 図書資料室管理

教育に関する書籍や刊行物、研究資料等を収集・整理し、県内教職員の研修を支援する。

8 広報業務

教職員の資質向上に資する教育センターの取組や講座の案内・募集等の周知・広報を行い、県内の教職員に役立つ情報の提供を推進する。